

広報ぬまた Numata 4

2021.4.22
Vol.649

ピッカピカの小学1年生!!



4/6 沼田学園沼田小学校入学式

今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・2
- ★教育行政執行方針・・・6
- ★主要事業概要・・・8
- ★沼田町に新しい風・・・12
- ★まちレポ・・・14
- ★沼田警察庁舎から・・・18
- ★沼田消防から（消報）・・・19
- ★生涯学習ゆめっくる・・・20
- ★図書館から・・・21
- ★ふれあいインフォ・・・22
- ★新規採用職員紹介・・・23
- ★役場機構図・・・24
- ★法務省にトマトジュース 26



JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



令和3年度町政執行方針概要



町長 横山 茂

3月11日に開会された第1回議会定例会で、横山町長が令和3年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたしません。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

第6次総合計画で目指す将来像「子どもたちが誇りをもてるふるさと創造」を基軸とした、5つの基本目標の実現に向け着実に前進させることを基本とし、町民皆様が夢と希望と誇りをもち、いつまでも安心していきいきと暮らすことができるまちづくりと、人口の確保を政策コンセプトとして「関係人口の創出・拡大」に向けた、既存事業の見直しと新規事業を加えることで施策に厚みを持たせることと併せて有機的な連携を図り、町民皆様の満足度と幸福度の向上を目指して展開してまいります。

○健康づくりの推進

令和2年度を始期とする第2次沼田町健康増進計画に基づき、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸を目指していけるよう生活習慣病予防と重症化予防の徹底を図ることとし、各種健診の費用助成を含めた受診勧奨及び、町立沼田厚生クリニックを受診し禁煙治療に要する医療費の助成等を継続して取り組むとともに、町民皆様の健康に対する意識付けと受診勧奨を目的に、各種健康事業への参加や特定健診、各種がん検診の受診に対し、新たに行政ポイントを付与することとし健康づくりを推進してまいります。

○子育て支援の充実

令和2年度を始期とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」により、子育て支援事業を推進しており、地域子育て支援センター運営事業などの子育て支援事業や母子の健康づくりに関する健診費用助成などを継続するとともに、新たに妊娠出産に係る費用の経済的

負担の軽減と不安を抱えた妊婦への継続的な支援を目的として、北海道が実施する不育症治療費の助成額を上回る経費について助成を行うことといたしております。



○農業の振興

水稲を中心とした営農体制維持には、畑作や高収益作物も含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得の確保と農業経営の安定化を図るため、引き続き、農業所得向上対策事業、農地流動化支援事業、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度などを継続実施するとともに、新たに良食味米生産・耐病性の向上などを目的に、ケイ酸資材購入に対しJ Aと連携して助成を行う「良品質米栽培助成事業」に取り組んでまいります。

農地流動化においては農業委員会等関係団体の努力と、地域の受け皿となる担い手農業者の安定経営に向けた規模拡大意向に沿って順調に推移し、農地集積率は引き続き90%を超える水準を維持しており、今後も農地の流動化が円滑に進むために必要な農業生産法人の設立支援や新規就農者等担い手の確保対策に継続して取り組むとともに、昨年設立された沼田町スマート農業研究会による実証結果を踏まえつつ、沼田町に相応しいスマート農業技術の導入・普及促

進を図ってまいります。

○ぬまたアグリファーム

人口減少に伴う国内市場の減少や農業者の減少・高齢化が深刻化する現状において、将来を見据えた持続可能な沼田農業の構築のためスマート農業の実現や、将来の農業・地域を担う担い手確保に向けJ A及び関係機関団体の連携により、研修期間中及び就農後における新規就農者をオール沼田でサポートする「ぬまたアグリファーム」を本年4月に開設することとし所要額を予算計上いたしております。



○企業誘致の推進

地方創生において雇用創出は最重要課題であり、持続可能なまちづくりを実現するため、積極的に取り組んでまいります。

昨年コロナ禍で実施できなかった道内外の企業に対する企業訪問活動を再開しつつ、企業のニーズを的確に把握しながら「サテライトオフィス設置促進事業」の積極的なPRにより、企業立地に向けた足掛かりに繋がるよう努めてまいります。

また、企業の多様な働き方を支援するため「ワーケーション」を推進し、企業社員やその家族等との関係人口を増やしていくとともに、ノマドワーカーやIT企業等とのビジネス機会を創出できるよう、自然環境センター（ほたる学習館）の改修工事を予算計上いたしております。

雇用創出の新たな戦略として、農業分野での産業クラスター化に向けた誘致活動についても積極的に推進し、本町の強みであります雪利用を活かした食料の安定供給を目指し、新たに策定する「令和

令和3年度 町政執行方針概要

版沼田町食料貯蔵流通基地構想」と連携し取り組んでまいります。

○商工業の振興

商工業者自らが経営の安定化維持を目指し策定する「商店街活性化計画」に係る研修や先進地視察に要する経費及び、令和3年3月から開始した新たな「沼田町ポイントカード（NumaCa）」の積極的かつ持続的な事業運営のための補助金を、「商工業活性化サポート事業」に増額し、また、同カードに「沼田町行政ポイント」を導入することで、町内消費に繋げていただくための所要額を予算計上いたしております。

○観光の振興について

昨年度は、集客を見込む観光イベントが中止となり、観光客の大幅な減少となったことは非常に残念であり、町内経済も大きな打撃を受けました。

本年度は、ウィズコロナによる多様なスタイルでの観光イベントを開催する方向で観光協会や実行委員会等と模索しており、特に本町の一大イベントである「夜高あんどん祭り」については、昨年度中止の影響や従来の開催形式では感染リスクが高く大勢の観光客は見込めないことから、コロナ禍におけるニーズや若者をターゲットとしたインターネット広告・情報発信に対応するため、WEB広告やYouTube、SNSなど、長期的なPRツールを使った情報配信ができるよう「夜高あんどん継承事業」に所要額を予算計上いたしております。

○移住定住の促進

定住促進の視点からこれまでの事業に加えて、新たに「ぬまたら

イフサポート事業」として小中高生のいる全世帯に対して年間60kgの雪中米を配布することや、高校を卒業しても町内に就職して住み続けられる沼田っ子の普通自動車運転免許取得を支援する取り組みと、住み続けていただいている町民皆様の健康増進などの視点から実施してきた「ほろしん温泉町民優待事業」につきましては、地域資源を更に有効に活用していただくよう拡充することとして提案いたしております。

○JR留萌本線応援事業

深川市から沼田町間の存続を求め、引き続きJR留萌本線存続に向けて利用促進活動等に取り組むこととし、石狩沼田駅に人が集う仕掛けとして、町と包括連携協定



を締結している北海学園大学の協力を受け、地域おこし協力隊や住民の皆様と駅舎及び周辺の環境整備などに取り組むことと、地域公共交通の重要性や鉄道の歴史や魅力を再認識していただき地域鉄道応援の輪（JRに乗り続け隊）を広げてまいります。

また、「クラウス15号蒸気機関車」は保存状態から全国から注目されており、クラウスによって人と地域をつなぐ取り組みも進めてまいります。



〇防災対策について

近年、地球温暖化による気温上昇の要因により、経験したことがない台風の大型化や極地的な豪雨が引き起こす甚大な災害などが多発しており、また、10年前の東日本大震災の余震といわれる地震が過日発生し、多くの負傷者を出すなど各地で災害が頻発しております。

一昨年までは継続的に防災セミナーや訓練を開催実施してきましたが、昨年度は新型コロナウイルス



又感染防止の観点から実施を見送ったところであり、昨年実施できなかった、自衛隊や各関係機関と連携した防災訓練に取り組むこととしております。

また、大規模な災害が発生した際、地域住民が安心して避難所生活を送れるように、避難所の運営体制を迅速に確立し、円滑に運営する必要があることから、それぞれの避難所において地域住民で行う自主運営の基本的なルール等を定める「避難所運営マニュアル」を作成することとし所要額を予算計上いたしております。

結びに

我が国は、日本経済の高度成長期から地方の過疎化が進み、平成の時代から少子高齢化が叫ばれ、平成20年の人口ピークから人口減少社会を迎え社会構造が大きく変化し続けており、誰もが希望を抱いて迎えた「令和」の新時代の地域づくりは、東京一極集中の是正と地域の多様性を活かした分散型国土の形成と云われておりますが、コロナ禍の影響により先行き不透明な状況が続いております。

私の所信であります「夢と希望と誇りの持てるまちづくり」は誰かがつくってくれるものではなく、私たち自身が築いていくものと考えております。

昨年、緊急スローガンとしたKEEP THE 3000! 「関係人口UP! 大作戦」は、町の将来を見据え、人口減少を和らげ人口三千人を維持することを一丸となって取り組む旗印として掲げたものであり、結果として現在人口三千人の維持にいたっておりますが、移住者のバイブルと言われる「住みたい田舎ランキング」において3年連続で高い評価を受けており、このことは町政運営に励みとなつているところであります。今後も魅力ある地域情報の発信と、きめ細やかな相談対応により移住に繋げ、移住後は「移住して良かった、住み続けたい」と感じていただけることが次に繋がるものと考え、そのためには町が取り組む事業のみならず、新旧の移住定住者（町民）が本町ならではのコミュニティを形成し、まちの魅力を高めながら個性を伸ばし、人や社会を思いやる環境を町民皆

様と作り上げることが肝要であると考えております。

本年は、私が就任から3年目の任期折り返しの年となります。「沼田町第6次総合計画」に掲げる5つの基本目標の実現に向け、先人が積み重ねてこられた歴史・文化・伝統などの様々な資源（地域力）を有機的に深化させ、「雇用の創出・稼ぐ力の拡大」による地域力の持続的発展と、「子育て・教育環境の向上」による安心して子育てのできる環境づくり、「地域資源を磨き上げ」五感にはたらきかけて誘客する「関係人口の創出・拡大」を実現するため、町民皆様の声を聴かせていただき議論を深め、町民との絆を共に思いやる感謝で繋ぎ「オール沼田」で豊かな楽園づくりに邁進してまいりますので、町民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。令和3年度の町政執行方針といたします。

令和3年度教育行政執行方針概要



教育長 吉田 憲 司

3月11日に開会された第1回議会定例会で、吉田教育長が令和3年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

人口減少や少子高齢化が進み、地域産業を支える担い手の不足や、生産・消費の縮小、地域のコミュニティ機能の低下などにより、将来を支える人材の育成を担う教育の役割が一層重要となっており、更なる教育の質の向上に取り組むことが求められています。

また、ICTの進化は生活や企業活動を支える社会基盤となっており、子ども達はICTを使いこなす力

と正しい知識を身に付けることが必要であるとともに、変化する社会の中で主体的に生き抜くことができるよう、限らない可能性を伸ばす質の高い教育を提供し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、地域社会に貢献する人材を育成する教育の充実を進めてまいります。

〇小中一貫校「沼田学園」

沼田学園は小中一貫型小学校・中学校の特性を活かして、9年間を見通した教育課程を整理し、教職員の小・中学校の指導内容の系統性についての理解を深め、授業実践と改善の継続を図ります。また、沼田認定こども園と沼田小学校との幼小連携が早期の学習支援につながることも期待できることから、継続して取り組みます。

さらに、専門性を生かした乗り入れ授業、小・中の円滑な接続のための小学6年生の中学校登校もその趣旨を生かし、内容の充実を図ります。

○学力向上対策の推進

近年の全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査などから沼田町の児童生徒の学力が向上しつつあることは明らかになっていますが、さらに課題を解決するために、沼田学園として連携し、学力向上への取り組みを一層推進していきます。

具体的には、授業改善のための授業スタイルとして主体的・対話的活動を促す「沼田スタイル」を沼田学園として組織的に継続して研究・実践を積み重ねていくとともに、学習規律、家庭学習等につきましても9年間のつながりを意識した学習習慣の確立を図っていきます。

一人1台配布されたタブレットパソコンなど充実したICT環境を活用し、教員の研修を進め、児童生徒の学力向上につなげるとともに、国が実施する「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に小・中学校全年で参加し、ICTの活用をさらに進めてまいります。

○ふるさと教育やキャリア教育の充実

地域の自然や伝統・文化に親しみ、理解を深めるふるさと教育の充実、先人の生き方に触れることなどを通して、ふるさとへの愛着や誇りを育み、自尊感情の醸成に繋がるものと考えます。逞しく生き抜く子ども達を育成するため、沼田の地域素材を活用し、地域の方々にご協力いただきながら、沼田町の良さや魅力を知り、子ども達が「沼田町で生まれてよかった」、沼田町で育って良かった」と胸を張って言える教育を進めるとともに、「子ども議会」を開催することにより、地域社会の一員として議会や行政の意義やしくみへの理解を深める取り組みを実施してまいります。

子ども達は将来、社会の中で自分の役割を果たしながら、社会的・職業的に自立し、自分らしく生きていく力が求められています。児童・生徒が様々な職業や地元企業の職場を見学・体験することで、働くことの意義や職業観を学び、

意欲的に仕事に取り組む姿勢を身に付け、自分の進路を主体的に選択・決定できるよう、キャリア教育も引き続き取り組んでまいります。

○心身の健康づくり

学校生活における児童・生徒の意欲や満足感、学級集団の状態をアンケートによって調査する「hyper-QUテスト」を実施し、生活意欲や満足度を知ることによって不登校やいじめ防止、あたたかな人間関係づくり構築のため、小・中学校が共通の学習規律を持つて、落ち着いた授業を受けることができる環境づくりを進めてまいります。

また、健やかな身体の育成については、沼田学園の全学年が実施する「新体力テスト」の結果に基づき、児童・生徒の体力向上に向けた検討を行い、3年目となる小学校の体育専科教諭の配置やコーディネーショントレーニングの導入、休み時間・放課後などにおける体力づくり活動、少年団活動や部活動への参画奨励など、体力づ

くり繋がる様々な取り組みを検証しながら、身体の育成と体力の向上を図ってまいります。

○子ども達の健全育成

「子ども交流ひろば」は、子ども達が地域の大人と一緒に体験や伝承遊びをすることで、逞しさや社会性を育むばかりでなく、地域の教育力も高める場として重要であります。今後も町民の方々に「子ども応援団」への登録を呼び掛けつつ、多様な活動を展開しながら、子ども達のより良い成長を促してまいります。

また、自然の中での共同生活の機会を与え、基本的な生活習慣を身につけ、普段体験することができない野外活動の体験を異学年との交流を深めながら心身の健全な育成を促す事を目的とした「自然体験キャンプ」は、宿泊キャンプ・デイキャンプを中学生リーダーや高校生ボランティアの協力を頂き取り組んでまいります。

いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

■ほろしん温泉町民優待券事業

【拡充】 1,597 千円

これまで実施してきた優待事業をボリュームアップし、町民の健康と満足度の向上に努めます。

《事業概要》

町民 1 人当たり、優待券 10 枚配布（従前 1 世帯 4 枚）

■新型コロナウイルス感染症対策

29,886 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの接種に向けた体制の確保及び接種に係る費用を計上するとともに、感染者の濃厚接触者等のための自主隔離施設を設け、町民の不安の軽減と地域における感染拡大を最小限にするための対策を講じます。

■高齢者住宅等周辺整備事業

【実施設計】 34,672 千円

沼田町農村型コンパクトエコタウン構想では、石狩沼田駅を中心にほぼ半径 500 m の範囲内で歩いて暮らせるまちづくりを進めることとしており、その範囲内に位置する「暮らしの安心センター」周辺に、冬期間の除雪などに不安なく、安心して生活することができる「高齢者住宅」を新築するための実施設計を行います。

■禁煙外来費用助成事業【継続】

200 千円

喫煙はがんをはじめ、脳卒中や虚血性心疾患などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器疾患、歯周病など多くの病気と関係しており、予防できる最大の死亡原因とされていることから、喫煙のリスクを認識し禁煙に取り組む方に助成を行い、疾病の予防、健康意識の向上を図ります。

■沼田町出産祝金事業【新規】

600 千円

沼田町で出生した子どもを養育する父又は母に出産祝を支給し、町の次代を担う子どもの成長を支援するとともに、家族の経済的負担の軽減を図ります。



にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

■行政ポイント事業【新規】 3,335 千円

新型コロナウイルス感染症対策としてキャッシュレス化など様々なかたちで非接触型への取り組みが進められている中、現在商工会で取り組んでいるポイントカード事業についても、非接触型への新しいシステムに移行し、これに合わせて、町の各種事業への参加に対しても広くポイントを付与する「行政ポイント」に取り組めます。

■歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業【拡充】 4,738 千円

「健康・食・交流」をテーマに商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

令和3年度予算

主要事業

①

にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

■ めまたアグリファーム運営事業【新規】 12,932 千円

新規就農の促進に向け、関係機関が連携し研修から就農までを一貫支援する組織を設立し、新規就農の受け皿体制を強化します。

■ 良品質米栽培助成事業（JA 北いぶきとの連携事業）【新規】 1,500 千円

良食味米生産、耐病性、耐倒伏性の向上、不稔発生の軽減を目的として、幼穂形成期にケイ酸の追肥に対する助成を行います。

《事業概要》

下記のいずれか低い金額の 40%（+ JA40%）を助成します。

- ①ケイ酸資材購入費用
- ②実施面積に算出単価を用いて算出した金額

■ 高収益作物（ミニトマト） 作付実証試験（担い手育成事業） 【新規】 281 千円

新規就農者の受入体制の充実を図るために、めまたアグリファームと連携し、高収益作物（ミニトマト）の試験栽培を行います。



■ 首都圏アンテナショップ設置事業 【新規】 5,600 千円

首都圏に沼田町の特産物を販売するアンテナショップを設置し、大都市圏での地域ブランドのPRと販路拡大を図ります。（対面販売からスタートし、ネット販売への誘導を図るとともに、ふるさと納税のPRにもつなげます。）

■ 令和版沼田町食料貯蔵流通基地構想 策定事業【新規】 3,300 千円

食料安全保障の確立が改めて求められている中、本町の進める「沼田町食料貯蔵流通基地構想」の重要性は益々高まっていると考えられることから、現代の情勢に即した新たな構想の策定に着手します。

にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

■ サテライトオフィス設置促進事業【新規】 740 千円

新たな誘致活動の方策として「働き方改革」の流れの中、自然豊かな環境でリフレッシュしながら仕事を行う等の目的で、本社から離れた場所にオフィスを構えるサテライト（衛星）オフィスが注目されていることから既存町内施設への「サテライトオフィス」設立誘致に取り組み、多様な働き方の提供と将来の企業進出による交流人口・関係人口の拡大により地域の活性化を目指します。

にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

■北海道日本ハムファイターズ応援大使事業【新規】 1,650 千円

2013 年度からスタートした「北海道 179 市町村応援大使」に本町が選定されたことを受け、「元気な沼田町を全国に発信する」ため、球団・応援大使とともに様々な事業を展開していきます。

応援大使：14 加藤投手、20 上原投手

■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【新規】 28,572 千円

幌新地区の温泉・ほたるの里を含めた地域資源を活かして、地域ブランドの醸成と発信や町民の交流をコーディネートする組織「ノマド自然学校（仮）」を設立します。

自然学校では、自然体験事業を実施するほか、ノマドワーカーを定期的に招き、様々な学びや活動を行う場を構築するとともに関係人口・交流人口の増加を促進し、「地域の稼ぐ力」を発揮することで地域の活性化を図ります。



にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

■ぬまたライフサポート事業【新規】 7,854 千円

沼田町に住む小中高校生、またその世帯に対し沼田町ならではの支援策を講じることにより、沼田町への定住を図ります。

《事業概要》

- ・ 食べ盛り（小中高生）世代の子を持つ世帯に、新米 60Kg のお米を贈呈
- ・ 中高生時にぬまたで育ち、卒業後も沼田に住み続ける子を対象に、免許取得費用を全額助成

■孫ターン奨励事業【継続】 525 千円

孫（若い）世代に、祖父母が居住しており地域に溶け込みやすい本町への移住を促すことで、本町に縁のある孫世代移住の流れを作り出し高齢者の見守り充実と移住定住の促進を図ります。

希望を育むまちづくり

■ 沼田学園推進事業【継続】 9,322 千円

平成 25 年度から本格的な取組みをスタートさせた本町の「一貫・連携教育」ですが、この間、小中 9 年間を見通した系統表の作成、合同授業、合同運動会を始めとする各種交流活動等に取り組んできました。

この取組みを更に発展させ小・中・地域関係者が互いに連携し、教育の方向性を共有するとともに「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」を実効性のあるものとするため、平成 30 年度から小・中学校を合わせた「沼田学園」という新たな体制のもと運営を行っておりますが、令和元年度からは保護者や地域の皆さんからの意見・ニーズを学園の運営に反映し、より地域に開かれた学園づくりを目指した取組みを進めていきます。

■ 町営スキー場リフト更新工事【新規】

■ 町営スキー場ロッジ新築実施設計

地元の小中学生等を中心に多くの方々から親しまれ、冬期間のスポーツ振興・体力向上を図る場でもある高穂スキー場のリフト及びロッジが老朽化していることから、リフトの更新に伴う実施設計を含めた工事及びロッジを新築するための実施設計を行います。



安心安全に暮らせるまちづくり

■ 防犯カメラ設置事業【新規】

1,818 千円

児童・生徒の登下校時の安心・安全のため、通学路の一部に防犯カメラを設置します。

■ 避難所運営マニュアル作成【新規】

2,145 千円

災害発生時に派遣された町職員や避難されてきた地域住民の方々が、避難所を開設・運営するための一定の手順を定めた「避難所運営マニュアル」を作成します。

■ J R 留萌本線応援事業【拡充】

5,303 千円

J R 留萌本線の利用促進を図るための事業に対して支援を行い、J R 留萌本線の活性化及び沼田町の観光 P R、更には公共交通機関としての町民意識の向上を図ります。

《事業概要》

- ・ 町内外向けイベントの開催
- ・ クラフトビール製造ラボ整備関連経費
- ・ 駅カフェ試験営業関連経費（材料費等）
- ・ 駅舎環境整備（修繕・備品購入等）



新法人・テストセンター着工・新しい体制
新しい地域おこし協力隊等 現在合計13名

沼田町に新しい風

本年4月から指定管理者として新たな法人が立ち上がり、いよいよ工業団地にも新たな建物が建設されます。農業関係でも新しい体制がスタートし、うれしいニュースが続いています。

また地域おこし協力隊も4月1日から新たに3名加わるなど新たな人材とアイデアで今後の地域活性化に期待をしています。

販路拡大に期待

コーミ北のほたるファクトリー

トマトジュースやトマトケチャップ等を製造する沼田町農産加工場を4月1日(木)から、町と業務提携を結んでいる、コーミ(株)(名古屋市中)が新しく設立した「コーミ北のほたるファクトリー株式会社」に指定管理委託しました。

町とコーミ(株)は2012年に協定を結んでから技術支援を受けケチャップなどの商品を作ってきており、加工用トマト生産日本一を目指す当町と商品の増産を考えているコーミ(株)の想いが一致し、今回の指定管理となりました。

現在のトマト製品市場は全国的に消費者の健康志向から、国産トマトを使った製品が人気の一方、加工用トマトの生産量は年々減少しており、加工用トマトの産地である沼田町とトマト商品開発技術のあるコーミ(株)とが手を組み、今後のトマト商品増産へ向けて共に進んでいきます。

コーミ(株)の川澄亮太社長は「新会社は、沼田町と共に発展していきたい。従業員、お客様そして沼田町民の3者が良い方向に進むようがんばっていきたい」と話されました。



横山町長と川澄社長



地域おこし協力隊

大竹将太さん



札幌市出身で釣りや楽器演奏、登山など趣味が多彩な大竹さんは産業創出課所属で観光支援員として勤務しています。幌新地区で進めている自然学校設立に向けての準備をしています。

テストセンター工事着手

ハイテクインテナー

沼田工業団地に土地を所有しているハイテクインテナー株式会社（巨尾紀人代表取締役社長）のテストセンター建設に係る地鎮祭が、3月16日（火）現地で行われました。

このテストセンターは、ローカル5Gに対応した基地局や端末などの通信基盤の低コス

トなシステムなどの実証試験等を行う施設で、巨尾社長は「今回の建設によって地元の経済、雇用が少しでも発展していく役割を果たしたい。ローカル5Gの世界で、日本で一番を走っていききたい」と述べられました。



新規就農の受け入れ

アグリファーム

新規就農希望者の研修から就農までを一貫支援することを目指すとした「ぬまたアグリファーム」が4月1日（木）発足しました。JAや土地改良区、農業者らが一体となり受け皿を設けることで、農業人材を円滑に呼び込み定着に

繋げようというものです。

この日行われた総会で横山町長が会長に就任し「沼田農業の核となる人材を育成し、特製を活かした農作物のブランド化を図りたい」と述べました。



西片寛貴さん



札幌市出身で北海道を一周したいという夢を持つ西片さんは、農業推進課農業支援員として(有)須網農場に勤務しています。

これから農業を一から勉強していき、様々な作物を作っていきます。

植村麻由さん



北広島市出身で煮物料理が得意な植村さんは、農業推進課農業支援員として、(株)ITFに勤務します。

特に花が好きで、生産現場からきれいな花をお客様に届けられるよう勉強していきます。

3 / 最後の雪を楽しみました

20 沼田寒中フェスティバル

3月20日（土）とむとむ広場にて商工会青年部（菅岡宣行部長）主催のイベント「沼田寒中フェスティバル～日本最後の雪まつり～」が開催されました。

会場入り口の大きな雪像が来場者を迎え、雪像横には小型の滑り台や、雪像の裏にはゴムチューブで滑る6メートルほどの大きな滑り台等が設営され、子ども達は声をあげながら楽しんでいました。菅岡部長は「寒中フェスは昔実施されていたイベントで、名前が気に入ったので今回復活しました。コロナ禍で外出自粛の中、子ども達みんなに楽しんでほしい」と話していました。



3 / 小学校・和風園・旭寿園に

22 商工会女性部からタオルの寄贈

3月22日（月）商工会女性部（三浦実希部長）から和風園と旭寿園、小学校に合わせて153枚のタオルを寄贈していただきました。

タオルは部員が持ち寄り、3年に一度寄贈いただいているものです。

受け取った横山町長は「今年は新型コロナウイルスの関係で、タオルがとても必要。たいへん助かります」と感謝を述べました。



3 / 早く運動ができますように

22 沼田小学校グラウンド雪割りボランティア

沼田小学校の雪割りボランティアを渡部建設株式会社（渡部稔代表取締役）に行っていただきました。

これは同社が毎年、地域貢献活動の一環として取り組んでいる活動で、3月22日（月）に行われた作業は、大型のバックホーなどを使用して行われ、児童たちはこの雪割り作業によって早く雪が解けるのを心待ちにしています。



3 / 今年もおいしいお酒になりますように 23 雪なごり～瑞華～蔵出し

沼田町産の酒造好適米「彗星」を原料に醸造し、雪室で低温熟成させた地酒「雪なごり～瑞華～」の蔵出しが雪の科学館で3月23日（火）行われました。

この日蔵出しされた4,000リットルの原酒は、12月から3カ月雪の温度で熟成され、醸造する高砂酒造の担当者は「安定した温度で熟成した雪なごりは、今年もまろやかな飲み口になりそうです」と話していました。

雪なごり～瑞華～は、4月16日から町内酒小売店で生貯蔵酒が販売される予定です。



3 / ふるさと振興基金 あいさい 24 愛菜ママが大賞

北空知信用金庫が地域の団体を応援する「ふるさと振興基金」の大賞に、女性農業者グループ「愛菜ママ」が選ばれました。

3月24日（水）の表彰式後、役場に報告に訪れた植木千鶴代表と堀直美さんは「今年で活動25年を迎える。今後も農業のやりがいを次世代に繋げたい」と話されました。



3 / 頑張った成果 26 山森星空さん全日本大会で第5位入賞!!

ルスツリゾートスキー場（留寿都村）で行われた第5回全日本ジュニアスキー技術選手権大会で旭川大学高校1年の山森星空さん（仲町西）が、見事5位に入賞し、3月26日（金）受賞の報告に役場を訪れました。

同大会は昨年、コロナ禍で中止となりましたが、2年前に参加した大会でも10位という好成績を残し、高校に進学した今年もシーズン中は毎日スキー場に通り練習をして成果を上げました。

全日本スキー連盟公認のクラウンプライズテストにも合格している山森さんは「来年は優勝目指してがんばりたい」と力強く話していました。



3 / 希望の桜をオリンピックに！ 26 雪氷桜プロジェクト

今夏開催予定の東京オリンピックのマラソンと競歩の応援に、北海道の雪と桜を贈る企画「北海道雪氷桜プロジェクト」（同実行委員会主催）の桜の保存が、3月26日（金）沼田式雪山センターで行われました。

今年は道内32自治体から約3,300本の桜が集まり、横山町長らがコンテナに並べて雪山へ埋設しました。横山町長は「この桜を世界の方に生で見てほしかったが、新型コロナウイルスの影響で難しい。映像を通じて世界中で見られることに期待したい」と述べました。



3 / 北海道179市町村応援大使 30-31 ファイターズの試合を観戦しました

3月30日・31日の2日間、北海道日本ハムファイターズが北海道179市町村を応援する企画「北海道179市町村応援大使2021」の一環として、札幌ドームの開幕戦に応援大使市町村の住民が招待され「OPENING GAMES 2021」を観戦しました。

沼田町からは両日で29名が観戦し、コロナウイルス対策のため、座席を一つ空けて座り、大声を出さずに拍手で応援しました。

試合は残念ながら30日は敗戦、31日は惜しくも引き分けとなりましたが、札幌ドームでの開幕戦を楽しみました。



4 / 安心安全のためありがとうございます 1 夜高パトロール隊出動式

入園、入学期が始まるのに合わせ、防犯協会沼田支部（石田隆弘支部長）の「夜高パトロール隊（橋田賢吾隊長）」の出動式が、4月1日（木）沼田認定こども園前で行われました。隊員は揃いのチョッキを着て整列し、石田支部長から「子供たちが安全に通学できるよう、見回りお願いします」と挨拶し、隊員たちはそれぞれの車に乗り込みパトロールに出発しました。



春です!! 入園式・入学式が行われました!!

4 / 1 **げんきいっぱい!!** **沼田認定こども園**

4月1日(木)沼田認定こども園にて第6回入園式が執り行われました。土肥芳子園長から「今日みなさんが入園される日を楽しみにしていました。これからみんなでいっぱい歌って思い切り遊びましょう」と歓迎の挨拶がありました。こども園では現在0歳から5歳の79名の園児(新入園児含む)が在籍しています。



4 / 6 **緊張の新一年生** **沼田学園沼田小学校**



好天のなか、沼田小学校入学式(中川浩之校長)が行われ、18名(男の子5名、女の子13名)の子ども達が、担任の村山先生から名前を呼ばれ、会場に響き渡るほど元気に返事をしていました。

中川校長から、新入学生の皆さんには「今日から元気よくあいさつをしましょう。」そして、保護者の方々には「どうぞ遠慮なく、皆さんの声をお寄せ下さい。小学校はチームとして、子ども達を見守ります。」と、心強い言葉を述べられました。

4 / 6 **制服姿がりりしく** **沼田学園沼田中学校**

沼田中学校(米倉卓司校長)でコロナ予防対策が徹底された中、令和3年度の入学式が行われました。新入学生徒26名(男子16名、女子10名)は制服に身をまとい、保護者らに見守られ堂々と会場に入場しました。

米倉校長の式辞では、新入学生徒に「これまでは家族に見守られ、温かく育てられてきたと思いますが、これからは自らの意志で物事を解決できる力を養い、自分の思いが相手に伝える事ができる、人とのコミュニケーションが取れる人間になってほしい。」と述べられました。





春の地域安全運動～みんなで築こう、安全で安心な大地～

1 運動期間

令和3年5月11日（火）から5月20日（木）までの10日間

2 広報ポイント

ア 子供の犯罪被害防止

- 防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯グッズを持たせましょう。

イ 女性の犯罪被害防止

- イヤホンで音楽を聴いたり、スマートフォンを操作しながらなどの「ながら歩き」は周囲の状況がわかりにくくなるので注意しましょう。

ウ 特殊詐欺の被害防止

- 突然の電話やメールでお金の要求をされたら詐欺を疑い、「支払う前」「渡す前」に警察に相談してください。

自転車の安全利用の促進 自転車も 車と一緒に その責任

- 1 自転車はとても便利な乗り物ですが、ルールやマナーを無視した乗り方は重大な交通事故につながることもあります。

自転車に乗るときは、正しい交通ルールを守り、安全に自転車を利用して交通事故に気を付けましょう。

【自転車安全利用五則】

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子供はヘルメットを着用

- 2 知っていますか。北海道自転車条例

- 自転車に乗るときは、子供はもちろん大人も乗車用ヘルメットをかぶり、夜間は自転車の側面に反射器材を付けるようにしましょう。
- 万が一に備えて、自転車損害賠償保険等に加入するようにしましょう。

聖火リレー開催に伴う警察活動への道民の理解と協力の確保 聖火リレーの成功に向けて

本年7月に開幕する東京オリンピックは、新型コロナウイルスの影響により史上初めて延期となるなど、世界中から大きく注目される大会であります。

東京オリンピック聖火リレーは、競技に先立ち、3月25日から7月23日までの間に全国で実施され、北海道は6月13日、14日の二日間行われます。

警察では、聖火リレーが安全に行われるよう警戒警備を行うほか、重要施設や公共交通機関等に対するテロ等違法行為を未然に防止するため、総力を挙げて取り組んでいきますので、警察活動への御理解と御協力をお願いいたします。

また、聖火リレーのルート周辺においては、交通規制が行われますので、事前の迂回や公共交通機関の御利用とともに、路上駐車をしないようお願いいたします。

犯罪の発生状況（令和3年3月末現在）

町内における犯罪件数

	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	その他	わいせつ犯	合計
令和3年	0	0	0	0	0	0
令和2年	0	0	0	0	0	0

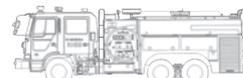
交通事故の発生状況（令和3年3月末現在）

町内における交通事故件数

	人身事故	物損事故
令和3年	0	令和3年 12
令和2年	0	令和2年 13

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数

令和3年	1
令和2年	0



沼田消防団に町を守る頼もしい仲間が3名入団！

沼田消防団 大原団長より4月1日付けで、3名の新入団員と4名の昇格者に辞令が交付されました。該当者は次のとおりです。

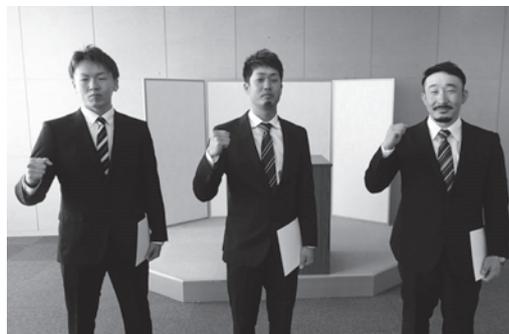
第1分団新入団員（1名） ・団員 山田 大希

第3分団新入団員（2名）
・団員 上野 正貴
・団員 林 徳彰

第1分団昇格者 ・部長 鷲尾 哲也 ・班長 小本 拓巳

第2分団昇格者 ・班長 横山 昌利

第3分団昇格者 ・班長 室田 健一



左から山田団員、林団員、上野団員

避難行動の注意点を確認しておきましょう

先月号の消報（災害食の事前準備）に引き続き今月号では、避難行動の注意点についてお知らせ致します。大きな地震が起きたり、緊急地震速報が鳴った場合、玄関へ移動し扉を開け避難口を確保し、姿勢を低くして頭を守りましょう。揺れがおさまれば避難する場合には、普段履き慣れた靴や運動靴で避難しましょう。（長靴は負荷がかかり、水が入ると脱げて危険です。）

もしもの時のために、避難行動の注意点を確認して災害時に備えましょう。

避難行動の注意点

- ・窓ガラスや食器の破片に注意しましょう。
⇒地震によって窓ガラスや食器が割れて床に散らばっている場合があるので、室内ではスリッパや靴を履いて行動しましょう。
- ・ブレーカーやガスの元栓に注意しましょう。
⇒ブレーカーを落としていないと電気が復旧した際に火災（通電火災）が起こる場合があります。またガスの元栓を閉めていないとガスが漏れ出して引火し、火災が起こる場合があります。二次災害を防止するためにもガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としてから避難しましょう。
- ・災害必需品、非常食を持っていきましょう。
（先月号の消報参照）
⇒一般的にライフラインの復旧や支援物資の到着まで「最低3日」はかかると言われています。ご自宅で災害必需品、非常食を用意している方は持って避難しましょう。
- ・建物の倒壊や落下物に注意しましょう。
⇒家や電信柱など、崩れたり倒れたりしてくる場合があります。またガラスや外壁が落ちてくる場合があるため、避難する際は建物から離れ周囲を確認しながら安全に避難しましょう。



「話がうまい聞き上手」になろう！ ～簡単コミュニケーション術～

新年度を迎え、初対面の人と関わるが多くなる時期になりました。そこで、コミュニケーションで失敗しないために、対話の技法である「傾聴」についてご紹介します。

1. 「傾聴」とは

傾聴とは、「耳」「目」「心」を傾け、真摯な姿勢で相手の話を聴くコミュニケーションの技法のことです。

この「傾聴」は仕事の場面だけでなく、日常生活の様々な場面で重要になります。

では、なぜ「傾聴」を身に付けることが、コミュニケーションの成功につながるのでしょうか。

2. なぜ「傾聴」なのか

「コミュニケーションが上手な人」というと、「話し上手な人」をイメージするかもしれませんが、しかし、コミュニケーションとは、話し手と受け手の双方が内容を理解することで、成り立つものです。

また、「傾聴」を行うことで、話し手に安心感や信頼感を与えます。このことにより、話し手はもっと話をしたくなります。

3. たったこれだけ！？ ～傾聴のポイント～

では、「傾聴」を行う際のポイントを見ていきましょう。

- ① 話を聞き、理解や共感の意思を表す
- ② 否定せず、相手の話を受け止める
- ③ 親身になって、話を聞く

この3つのポイントを心がけることで、話し手はより心を開きやすくなり、円滑にコミュニケーションを行うことができます。

また、安心感を与える方法として、話し手と「同じ声量で話す」、「あいづちをうつ」、「オウム返しをする」などがあります。

3つのポイントと組み合わせることで、楽しくコミュニケーションを取ることができます。



まとめ

今回は、「傾聴」についてご紹介しました。「コミュニケーション能力を身に付ける」と考えると難しいかもしれませんが、聴くことから始めるだけでも話しやすい関係は生まれてきます。

「傾聴」のポイントを身に付けて、あなたも話がうまい聞き上手になってみませんか。

お問い合わせ … 沼田町教育委員会（電話 35 - 2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



司書のイチホン!

『実家の片づけ』



実家に帰ると物が増えていたなんて経験ありませんか。

両親はまだ元気だからこそ、これからの人生をラクに楽しく暮らせるようにお手伝いする。今月は、親に寄り添いながら片づけをすすめられる本を紹介します。

まず紹介するのは『親に寄り添う、実家のちょうどいい片づけ』。毎日の暮らしがもっとラクになるような片づけ方法や収納方法が書かれています。5分でできる片づけ・60分でできる片づけなど時間で区切ってできるような片づけも紹介されていて、気軽に片づけをやってみようかなという気持ちになれる本です。

次に紹介するのは『案ずるより、片づけよう 住まいの老い支度』です。この本では、どのように片づけていけばいいのか考えるヒントが書かれています。まずは無理のない範囲で片づけて、少しずつ整理してみませんか。紹介した本以外にも片づけについての本はありますので、この機会にぜひご覧になってください。

新刊図書

《一般書》

- | | |
|-------------|-------------|
| 犬がいた季節 | 伊吹 有喜 |
| 向日葵を手折る | 彩坂 美月 |
| 乳房のくにて | 深沢 潮 |
| 一流非難 | 野村 克也 |
| 服が、めんどい | 大山 旬 |
| 日本が壊れる前に | 中村 淳彦 |
| 擬傷の鳥はつかまらない | 荻堂 顕 |
| ワクチン・レース | メレディス・ウッドマン |

《児童書》

- | | |
|---------------|--------|
| ぱくぱくはんぶん | 渡辺 鉄太 |
| にんじゃいぬタロー | 渡辺 陽子 |
| 会いたくて会いたくて | 長谷川 義史 |
| つくって役立つ! 防災工作 | 学研プラス |
| もっとよのなかルールブック | 高濱 正伸 |

新刊図書おすすめ!!

『書医あづさの手控』 白戸 満喜子



代々続く書医（書物のお医者さん）の家に生まれたあづさは、早世した兄に代わり、家業を継ぐことに。書物について知識のなかったあづさは、双子の妹・さくらとともに、修行にまい進してゆく。

『ネコノテパンヤ』 作 高木 さんご 絵 黒井 健



小さなパン屋さん「ネコノテパンヤ」。霧に包まれた日にやってくるのは不思議なお客さん。想像力豊かな心の旅ができる絵本。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



こうじのうきのうしょう 悩んでいる方はいませんか？高次脳機能障がい

交通事故や転倒事故、スポーツ等での頭部のけが、または脳梗塞や脳出血、脳腫瘍等を発症したりした場合、頭の中の脳細胞が損傷しているため、下記のような症状が現れる場合があります。

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1. 注意障害 | うっかりミスが増える・気が散りやすい |
| 2. 記憶障害 | 少し前のことをすぐ忘れる・新しいことが覚えられない |
| 3. 遂行機能障害 | 不器用になる・物事を段取りよく進められない |
| 4. 社会的行動障害 | こだわりが強くなる・些細なことで怒り出す |

けがや病気になる前と比べて、「人が変わったようだ。」「温厚だったのに、怒りっぽい性格になってしまった。」等、ご家族や周囲の方々が戸惑う場合、『高次脳機能障害』かもしれません。外見ではわかりにくく、ご本人や家族は「生きづらさ」を抱えます。お心当りのある方は、お気軽にご相談ください。

【 高次脳機能障害 相談窓口 】

- 脳挫傷友の会コロポックル「NPOコロポックルさっぽろ」 ☎ (011)858-5600
- NPO法人 Re~らぶ ☎ (011)868-7844
- 深川保健所 健康推進課健康支援係 ☎ (0164)22-1421
- 沼田町役場 保健福祉課健康グループ ☎ (0164)35-2120

※この他の窓口に関しては深川保健所ホームページに掲載しています。

<http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/fth/index.htm>

受けてみませんか？健康診査

今年度も健診のご案内をする時期となりました。順次発送いたしますので、お手元に届いた際には内容を確認の上、お申し込みください。

気づいた時には手遅れにならないよう、健康づくりと病気の予防、早期発見のために年に1度は健診を受けましょう！

◆健診日程表

健 診	日 程	場 所
沼田ふれあい総合検診	7/6 ~ 7/8	健康福祉総合センター 「ふれあい」
	10/6 ~ 10/8	
旭川バス総合健診	7/9、7/27	旭川がん検診センター
	11/4、11/30	
随時健診	6/1 ~ 翌 3/31	旭川がん検診センター 札幌がん検診センター
沼田ふれあい 子宮・乳がん検診	12/10	健康福祉総合センター 「ふれあい」
深川市立病院 子宮・乳がん検診	1/20、27	深川市立病院
	2/17、24	
沼田厚生クリニック 前立腺がん検診	11月予定	町立沼田厚生クリニック

◆お問合せ 保健福祉課 健康グループ 電話 35-2120

新規採用職員等の紹介

4月から沼田町役場で勤務しています、1名の厚生労働省派遣職員、7名の新規採用職員、2名の消防職員を紹介します。

おいぬま やすひろ
生沼 泰弘

所属：産業創出課
出身地：沼田町
趣味：野球観戦

抱負：故郷である沼田町での職員として働くことをうれしく思っています。皆さまから頼られ、信頼される職員になれる様、努力して参りますのでよろしくお願い致します。



すずき けんいち
鈴木 健一 (厚生労働省派遣職員)

所属：産業創出課
出身地：山梨県都留市
趣味：登山

抱負：内閣府地方創生人材支援制度により沼田町に派遣された鈴木です。2年間の予定ですので、一刻も早く沼田町のために役に立てるように精進いたします。よろしくお願い致します。



まえかわ こうすけ
前川 晃祐

所属：保健福祉課
出身地：深川市
趣味：バドミントン

抱負：沼田町の皆様に頼ってもらえるよう頑張りたいので、よろしくお願い致します。



たかはし しゅうと
高橋 愁人

所属：総務財政課
出身地：函館市
趣味：ドラム

抱負：ドラムのように沼田町を支える人財を目指して、日々精進して参りますのでどうぞよろしくお願い致します。



のぐち かずま
野口 和真

所属：旭寿園
出身地：沼田町
趣味：ドライブ、温泉めぐり

抱負：生まれ育った町で働けることに感謝し、自分の明るさを活かし日々精進していきたいと思ひます。



ながの あかね
長野 あかね

所属：教育委員会教育課
出身地：旭川市
趣味：ミュージカル鑑賞

抱負：みなさんが来たくくなるような博物館をつくりたいので、どうぞよろしくお願い致します。



さかもと ももこ
坂本 桃子

所属：保健福祉課
出身地：蘭越町
趣味：ピアノ、読書
抱負：がんばります。



さとう げんた
佐藤 源太

所属：旭寿園
出身地：苫小牧市
趣味：旅行

抱負：少しでも長く笑顔で充実した日々を過ごして頂けるように利用者の皆さんと関わっていきたくひです。



ささき ひろたか
佐々木 洋岳

所属：沼田消防支署
出身地：札幌市
趣味：温泉

抱負：今年から沼田支署の一員になりました。夢の消防士になりました。精一杯がんばります。



つかだ けん
塚田 拳

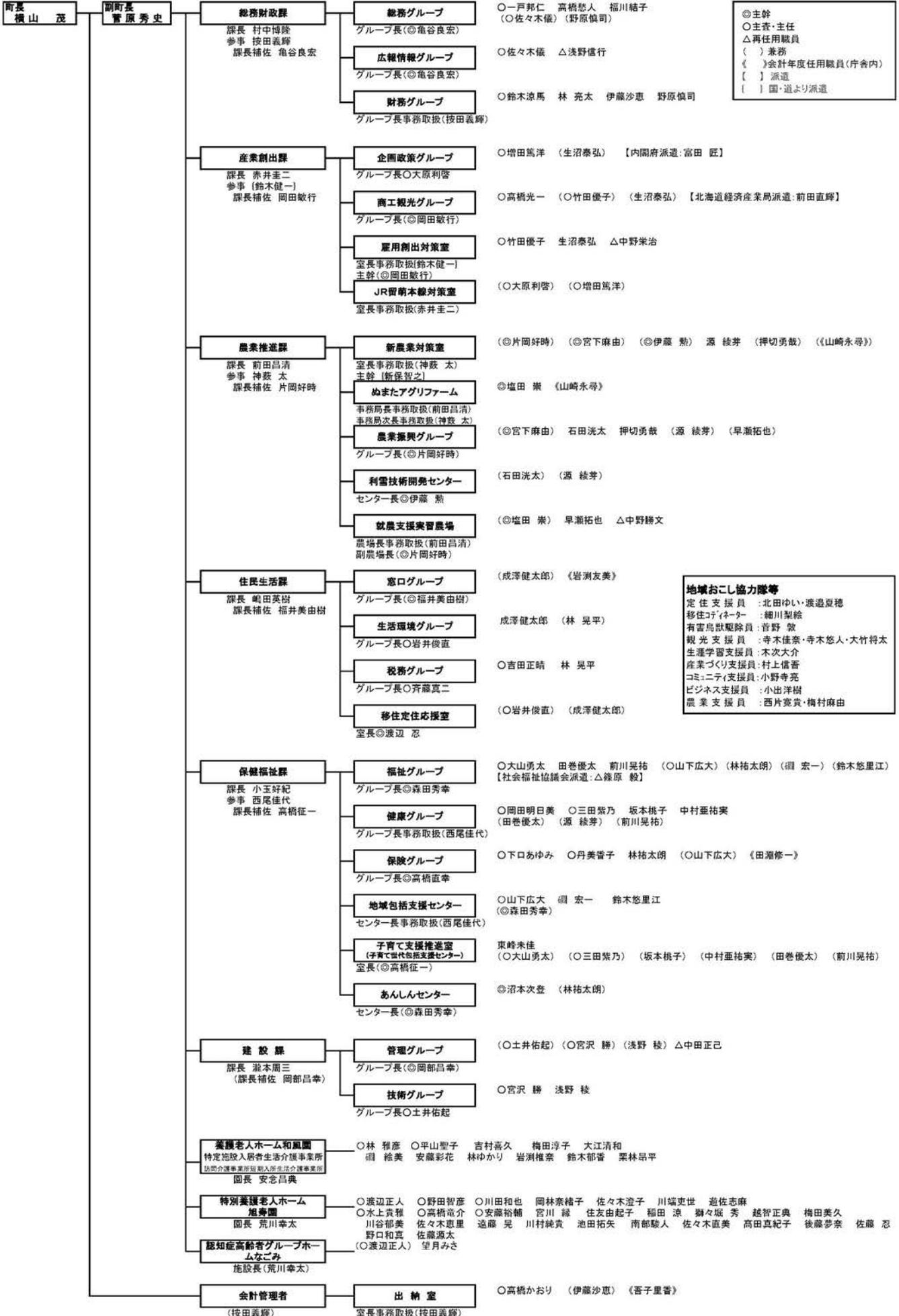
所属：沼田消防支署
出身地：芦別市
趣味：釣り、野球

抱負：立派な消防士になれるように先輩方の御指導を受け、一生懸命頑張ります。



沼田町役場機構図

令和3年4月1日現在

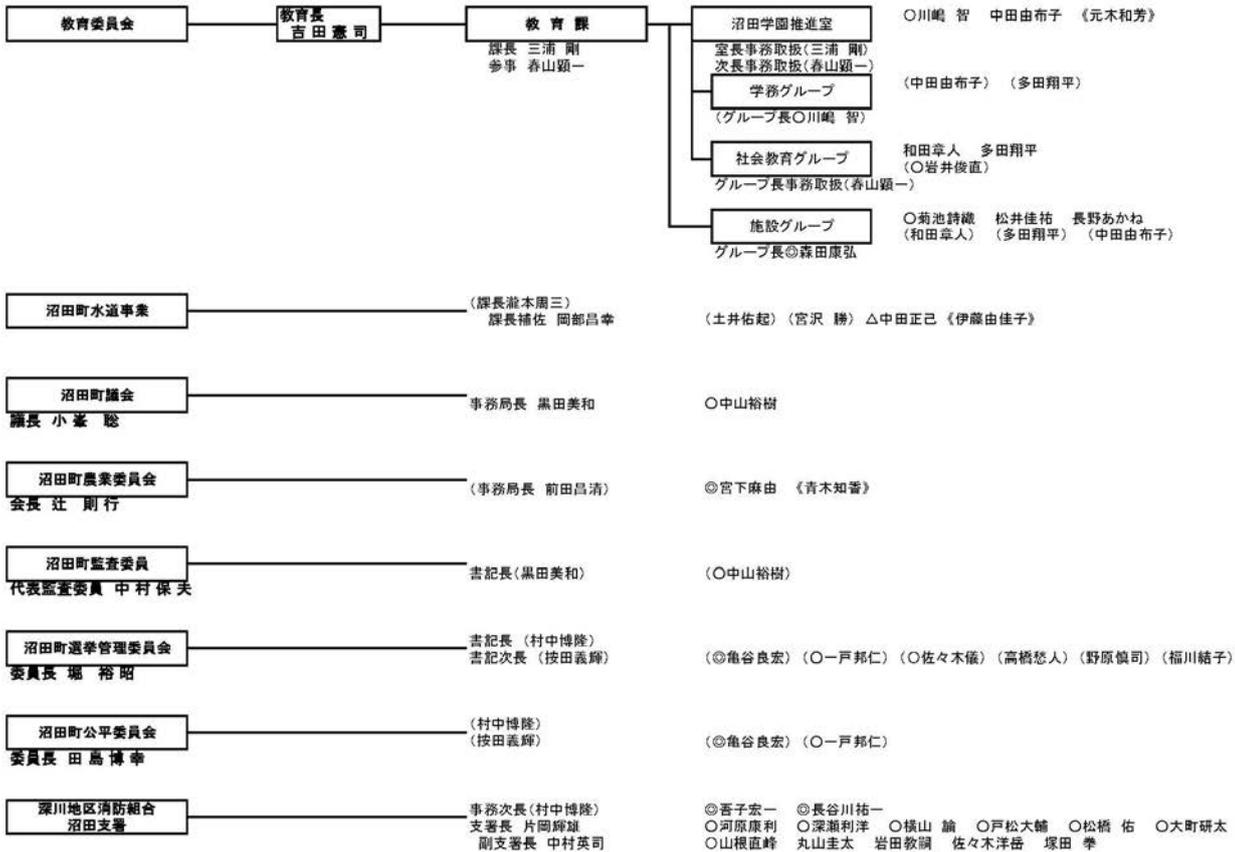


沼田町機構図

令和3年4月1日現在

沼田町役場機構図

令和3年4月1日現在



役場の各課へのお電話は、直通番号が便利です

役場の各課への電話は、代表番号の35-2111でお繋ぎできますが、下記番号におかけになりますと直通で各担当課が対応いたしますのでご利用ください。

場 所	電 話	F A X	メー ル
総務財政課	35-2111	35-2393	soumu@town.numata.lg.jp
住民生活課	35-2115	35-2393	jyumin@town.numata.lg.jp
保健福祉課	35-2120	36-2005	hoken@town.numata.lg.jp
農業推進課	35-2114	35-2393	nougyou@town.numata.lg.jp
農業委員会	35-2114	35-2393	nougyou@town.numata.lg.jp
アグリファーム	35-2113	35-2393	nougyou@town.numata.lg.jp
産業創出課	35-2155	35-2393	sangyou@town.numata.lg.jp syokou@town.numata.lg.jp
建設課	35-2116	35-2393	kensetu@town.numata.lg.jp
教育委員会	35-2132	35-1210	kyoiku@town.numata.lg.jp
議会事務局	35-2117	35-2393	gikai@town.numata.lg.jp
出納室	35-2145	35-2393	soumu@town.numata.lg.jp
沼田消防支署	35-2050	35-2563	syoubou@town.numata.lg.jp

法務省に沼田町のトマトジュース

法務省の省内に設置されている寄附型自動販売機に沼田町の「完熟トマトジュース」が並べられ、販売されています。

これは平成29年11月に、上川陽子法務大臣が就農支援実習農場の視察に訪れた際、沼田町民が犯罪や非行の立ち直り支援に寄せている思いに、大きな感銘を受けたことにより発案され設置されたものです。

この寄附型自動販売機は、飲み物の売上げの一部が更生保護法人日本更生保護協会が運営する「立ち直り応援基金」に寄附される仕組みの自動販売機で、集められた寄附金は、この基金を通じて、犯罪や非行からの立ち直りに尽力されている全国の民間協力者の草の根の活動に助成されます。



4月9日（金）役場を訪れた吉田代表は「百年の節目の年にあたり、感謝とお礼を申し上げたく寄附をさせていただきました。今後とも住みよい街づくりに役立ててください」と話されました。

創業から百年を迎える、合名会社北陽商会（吉田春美代表社員）から、今後のまちづくりに役立ててほしいと百万円の寄附を頂きました。
大正9年11月、吉田商会として発足した会社は後に映画館なども営み、現在は創業からの印刷と事務機器などの販売を行っています。

北陽商会から寄附

人の動き

(令和3年3月31日現在)

人口	2,952人	(前月比)	△ 6人
男性	1,407人	(前月比)	2人
女性	1,545人	(前月比)	△ 8人
世帯数	1,457世帯	(前月比)	△ 2世帯

総人口増減内訳

増加) 転入	: 37人	出生	: 1人
減少) 転出	: 39人	死亡	: 5人

交通事故死ゼロ

(令和3年3月31日現在)

3,187日継続中!!

佐藤 光夫	中田 初枝	鈴木 みやこ	氏
さん (男)	さん (女)	さん (女)	名
4月3日	3月24日	3月21日	死亡日
65歳	84歳	95歳	年齢
更新	旭町東	市内1南	住所

おくやみ

移住定住情報公式サイト

沼田町の定住奨励制度や暮らしの情報が満載です。



ぬまわーくサポートデスク

沼田町では求職者と求人者をつなぐために、無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を開設しています。

